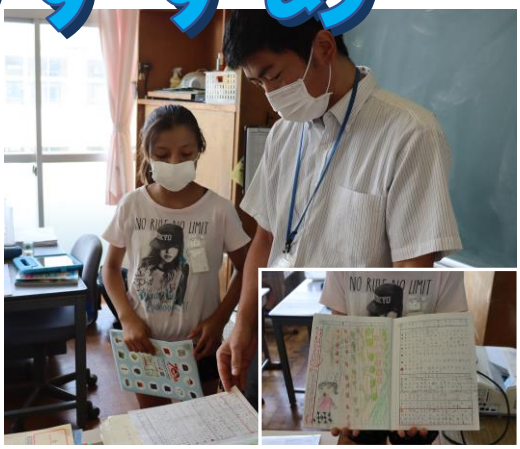
～ 夢を抱き、たくましく次の一歩を踏み出す 15 歳の育成 ～　幼小中一貫教育を推進！

幼小中つながる通信 vol.80

発行：令和 2 年 10 月 21 日　袋井市教育委員会

家庭学習のすすめ

登校後は宿題を提出（浅羽学園浅羽南小学校）



「自主勉強で昨日の授業をまとめてみました」

「考える力」を育てる

本市では子どもたちの「考える力」を養うため**学校でみんなで学ぶ学習**とあわせて、**家庭で自分で学ぶ**学習を進めています。各校では「自分で学ぶ」学習として、学年に応じた自主勉強を宿題としています。その自主勉強に取り組んでいる浅羽学園浅羽南小学校 5 年生の取組を紹介します。

自分が知りたいことを追求する

「昨日の社会で勉強したことを生かして、北海道のことをまとめてみました。」「総合で勉強している防災のことを知りたくて、祖父に命山のことを聞いたら、こんなことも分かりました。」

登校後に何人かがノートを開き、担任の先生に自分が取り組んだ自主学習について説明しています。5 年生担任の大宮英揮先生は、「何が分かった？」「新しい発見だね」と声掛けし、子どもたちの学習意欲を引き出しています。

自分のペースで学ぶ

子どもたちは、「自分が知りたいことや、分からないことを勉強する自主勉強は楽しい。」「家で予習をしてくると、学校の授業が分かる。」「漢字検定に合格したいので、11 月の検定に向けて計画を立てて勉強している。」「学校で教えてもらった思考ツールが他の勉強にも使えた。」と自分で学ぶことを楽しんでいるようです。

学びに向かう環境と周囲の声掛け

自分で学び、考える力をつけるためには、子どもの学習意欲や興味・関心を高め、学びに向かうための環境と周囲の声掛けが必要です。

本市では、家庭学習を充実させるため、今年度も全家庭にリーフレット「家庭学習のすすめ」を配布し、協力をお願いしました。

【袋井市版「家庭学習のすすめ」】

「幼小中つながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 幼小中一貫教育推進室　44-3194